



6月議会

## 核兵器禁止条約の署名と批准を求める請願を否決 被爆者のみなさんが意見陳述 ... 自民系・公明党議員が反対

6月議会には、被爆者のみなさんを始め、295名から国連が採択した「核兵器禁止条約の署名と批准の意見書採択を求める請願が提出されました。

請願を審査した厚生文教委員会には、長崎で被爆された方と広島で被爆された2人が、被爆の体験をもとに「政府が核兵器禁止条約に署名するよう意見書を提出してほしい」と意見陳述をされました。

日本共産党議員団は、紹介議員となり、請願を採択しよう賛成しましたが、自民系および公明党議員団は「核保有国が参加していない条約は実効性がない」「核の傘のもとにある日本はただちに核廃絶は難しい」等の理由で請願に反対し、不採択としてしまいました。

ヒバクシャの声を世界が動いた



日本こそ参加を

米朝首脳会談が行われ、共同声明によって「朝鮮半島の非核化と平和体制の構築」に向けて、新しい一歩がはじまりつつあるときに、唯一の被爆国として、また国際平和都市宣言を行っている江南市議会として、今こそ核兵器の禁止を日本政府や、世界に向けて発信すべきではないでしょうか。本当に残念です。

お隣の岩倉市議会は、全会一致で意見書を採択しています。

### 問題山積のPPP/PFI手法による 図書館を含む布袋駅東複合公共施設整備

6月補正予算には、PPP/PFI手法で事業を進める布袋駅東複合公共施設へ、新図書館の移設を追加するアドバイザー業務の委託料996万8千円と用地購入及び補償費約5億532万円が計上されました。

市民の関心の強い新図書館建設が、布袋駅東にと一歩進んだことは評価できるものの、建設の手法が民間資金を投入して行うPPP/PFIのため、どのような図書館が望ましいのか、十分な議論や検討の機会も期間もないまま、民間事業者のペースで進んで行ってしまっているのではないかと懸念されています。また契約期間が30年

と長く、経済情勢の変動により、業者の破綻や撤退等も予測される中、民間商業施設の一部を江南市が区分所有する複雑で不安定な状況で、



公共の財産である図書館や公共施設を守り切ることができるのか。問題山積の布袋駅東複合公共施設アドバイザー契約に反対しました。

請願に対する議員の態度		
賛成 反対		
議員名	党・会派	賛否
東 よしき	共産党	
かけのまち子	共産党	
森 ケイ子	共産党	
山 登志浩	社民党	
中野 裕二	国民民主党	
古田 みちよ	公明党	
鈴木 貢	公明党	
野下 達哉	公明党	
東猴 史紘	江南ク	
安部 政徳	江南ク	
伊神 克寿	江南ク	
稲山 明敏	江南ク	
古池 勝英	江南ク	
宮地 友治	江南ク	
福田三千男	江南ク	
尾関 健治	江政ク	
尾関 昭	江政ク	
河合 正猛	江政ク	
伊藤 吉弘	江政ク	
藤岡 和俊	江政ク	
幅 章郎	江政ク	
牧野 圭佑	江南ク	議長

江南ク=江南クラブ 江政ク=江政クラブ  
\*議長は採決に加わっていません。

### ブロック塀の撤去に助成を

・市長に要望書を提出・

大阪北部地震ではブロック塀の倒壊による痛ましい事故が発生しました。



江南市は、小中学校や保育園の危険箇所の調査を行い、ブロック塀は撤去する

方針で、7月20日に臨時市議会を開き、関連の補正予算を提案し、可決されたら工事に入ることを明らかにしました。

党議員団は、その方針を歓迎するとともに、7月3日、市長に対し、ブロック塀以外への対策と個人宅のブロック塀の撤去費用についても助成制度を設けるよう要望書を提出しました。

